

# 平成30年度 えべつ未来戦略推進計画書の見方

【平成30年度 えべつ未来戦略推進計画書】

○戦略名

4つある戦略の名称を記載しています。

## 戦略1 ともにつくる協働のまちづくり

○部局

戦略を推進するうえで、主管となる部と関係する部を記載しています。

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 生活環境部 関係部局 企画政策部、教育部

### めざす姿

- 市民や各種団体など多様な団体が、魅力ある協働のまちづくりに取り組んでいます。
- 大学や大学生と連携した、江別市ならではのまちづくりが進んでいます。

### 戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名 称	実績			
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
1 A 多様な主体が協働するまちづくり	5,643千円	3,751千円		
1 B 大学が活躍するまちづくり	2,920千円	3,581千円	8,000千円	
計	8,563千円	7,332千円	12,000千円	

○戦略プロジェクト事業費の推移

戦略を構成する事務事業の合計を、プロジェクト毎に記載しています。

戦略を構成する事務事業のうち、他の戦略と重複するものについては、( )で記載しています。

○成果指標

戦略プロジェクトの進み具合を数値で測ります。

### 戦略プロジェクト1 A 多様な主体が協働するまちづくり

#### 【プロジェクトの目標】

市民、自治会、市民活動団体、企業、大学、行政など多様な主体や高齢者をはじめとする様々な世代が、それぞれの得意分野や豊かな経験・知識等を活かし協働するためのネットワークづくり、組織づくりを促進し、協働によるまちづくり・人づくりに取り組むことで、協働の気運をさらに高め、江別市における協働推進の環境を整備します。

○目標

戦略の計画期間中に達成をめざす数値を記載しています。

#### ◆成果指標1 A-1 協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
23.1	21.7	24.4	23.6			35.0

○初期値ほか

初期値はH25年度を記載しています。

#### ◆成果指標1 A-2 協働のまちづくりに参加している（したことがある）市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
38.7	36.8	40.3	38.4			50.0

○30年度の方針

戦略プロジェクトごとに、H30年度の取組方針を記載しています。

#### <30年度の方針>

戦略プロジェクト1 A「多様な主体が協働するまちづくり」では、成果指標1 A-1・1 A-2と初期値からほぼ横ばい傾向で推移しており、引き続き目標の達成に向け、協働を担う人材や団体の掘り・育成につながる事業を重点的に実施するなど、さらなる協働推進の環境整備を図るため、以下のとおり事業を進めていく。

◆推進プログラム①「協働によるまちづくり」では、市民との協働により作成したリーフレットなどを活用し、市民参加制度の周知を図るとともに自治基本条例の理念や内容、協働意識の一層の啓発を図る。また、小・中学生を対象とした協働を知ってもらうための出前講座事業を引き続き実施することにより、未来の江別を担う子どもたちへさらなる協働意識の啓発を図る。

◆推進プログラム②「協働を担う人づくり」では、自治会役員の担い手となる人材を育成するため、えべつ地域活動運営セミナーを引き続き実施するほか、女性の自治会活動を支援するため、自治会の女性役員同士の意見交換や自治会の女性役員と自治会連絡協議会役員との意見交換を継続して行う。また、協働のまちづくり活動への支援を拡大するほか、協働を担う人材を育成するためのセミナーやワークショップなどを開催する。

◆推進プログラム③「協働に取り組むための組織づくり」では、自治会活動及び市民協働に関するホームページの内容を充実し、市民協働に関する情報発信を強化するとともに市民活動団体による出前講座事業を引き続き実施し、さらなる協働事業の伸展を図る。

○課題

プログラムを推進していく上での課題を記載しています。

#### >推進プログラム1 A-① 協働によるまちづくり

##### 課題>

- 自治基本条例の認知度の向上
- 市民参加に関する意識の向上
- 協働に関する意識の向上

##### <取組の概要>

- ・市民との協働により作成したリーフレット等を活用し、条例の内容を啓発
- ・市民参加制度の周知・公表
- ・小学生・中学生に向けた協働意識の啓発、併せて保護者への波及効果

○取組の概要

右欄の課題を解決するための取組の概要を記載しています。

○事務事業

推進プログラムを構成する事務事業を記載しています。

他の戦略と重複する事業については、重複先のコードが記載されています。

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
協働を知ってもらう啓発事業	協働の理解が進んだ学校の割合	— %	— %	90 %	H30から指標を変更
	事業費	1,018千円	1,000千円	710千円	

#### ○各事務事業の指標と事業費

推進プログラムを構成する事務事業の成果指標と各年度の当初予算額を記載しています。

事業費のうち( )は、他の戦略と重複するものです。同一の戦略内で事業が重複する場合は、1つのプログラム分のみに記載し、他は「—」としています。